

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧

No.	事業名	事業目的・概要	事業費 (千円)	事業実績	評価区分	評価内容
1	南牧村地域振興応援商品券事業	新型コロナウイルス感染拡大により、影響を受けている地域経済の活性化と家計への支援として、村内で使用できる商品券を発行し、全世帯への配布及びプレミアム率100%で販売する。	62,339	【配布】 飲食券 1世帯:5,000円 共通券 1人:15,000円 【販売】 飲食券 10,000千円分 完売 共通券 20,000千円分 完売 【換金率】 96.2% 印刷製本費 1,172,820円 販売手数料 741,780円 補助・交付金 60,424,500円	非常に効果があった	96.2%の換金があり、家計への支援と消費喚起で地域経済の活性化へとつながり、地元事業者の事業継続に効果があった。
2	ステイホーム応援&事業継続支援事業	新型コロナウイルス感染拡大のリスクが高まる冬場の感染対策及び原油価格高騰に対する家計への支援として、全世帯に灯油券を配布し、ステイホームの充実を支援するとともに、温かい部屋で過ごすことで免疫力の低下を防ぎ、感染症予防につなげる。同時に村内唯一のガソリンスタンド及び灯油取扱店の事業継続支援につなげる。	20,772	【配付】 1.2人世帯:2000分 3.4人世帯:2500分 5人以上世帯:3000分 【換金率】 95.9% 印刷製本費 169,928円 交付金 20,602,090円	非常に効果があった	95.9%の換金があり、原油価格の高騰に対する家計への支援と、地元事業者の事業継続につながった。感染症予防のため増加する在宅時間を快適に過ごすことができたと好評だった。
3	ネット環境改善事業	新型コロナウイルス感染拡大の影響によるテレワーク等の普及により、インターネット通信量が急増し、村営ケーブルテレビで実施しているインターネットサービスの通信速度が低下しているため、回線速度を増速し、通信環境の改善を図ることで、テレワークの活用を促進する。	4,433	インターネット接続料 回線増速分(100M→200M) 4月～3月分 4,432,956円	非常に効果があった	インターネット回線の増速により、コロナの影響による速度低下を最小限に抑制する事ができた。村内のインターネット環境の維持により、テレワークの定着促進に繋がった。
4	感染者集団発生対策事業	新型コロナウイルスの感染者が発生した事業所等が従業員等に対して行うPCR検査の費用を助成し、集団発生を防止する。また、高齢者福祉施設等に防護具等の感染対策物品や抗原検査キットを配布し、感染拡大を防止する。	2,652	抗原検査キット 920個 1,894,200円 パルスオキシメーター15台 176,550円 防護服・ガウン・キャップ・フェイスシールド 436,150円 消毒液・ニトリル手袋 145,500円	一定の効果があった	感染対策物品は、施設で有効活用されており、高齢者施設等、村内事業所における集団発生は、認められなかった。

No.	事業名	事業目的・概要	事業費 (千円)	事業実績	評価区分	評価内容
5	学生生活応援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの学生がアルバイト収入の減少に加え、オンライン授業に対応するための環境整備や通信費の増により、経済的にも精神的にも不自由で不安な生活を送っているため、オンライン授業の経済的負担を軽減し、安心して学業に励めるよう支援金を給付する。	1,400	給付件数 14件 給付金額 学生1人につき 10万円	一定の効果があつた	支援金の交付により、一人暮らしで生活面に不安を抱えていた学生の不安と負担を軽減することができた。
6	地域宅配サービス事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少した飲食店を支援するとともに外出自粛により自宅で食事をすることが増えた住民の食生活を応援するため、村内飲食店の出前代行サービスを実施する。	4,985	業務委託費 4,985,200円 配達食数 4,061食	非常に効果があつた	目標配達数の4,000食を上回る実績があり、コロナ禍で収入が減少した飲食店の営業継続を支援することができた。また、宅配サービスの継続実施により、住民の利便性の向上と雇用維持につながった。
7	緊急時避難所整備事業	災害時の新型コロナウイルス感染症対策として、避難所の増設を行い、分散避難により、感染リスクを低減させる。宿泊施設等の臨時的に活用できる施設がない為、新たに建物を取得し、避難所として活用できるように整備する。	9,569	土地・建物購入 5,768,000円 改修工事費 2,742,740円 避難所備品一式 1,057,892円	一定の効果があつた	災害の発生に備え、感染症対策として分散避難が行える施設の増設を行うことができた。
8	原油価格高騰対策支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響による原油価格高騰に伴い、事業用の燃油の価格上昇により生産活動等に影響を受けた事業者等に支援金を給付する。	3,908	給付件数 23件 給付金額 3,908,000円	非常に効果があつた	支援金の給付により、村内事業者等の負担を軽減することができ、原油価格の高騰に伴う事業継続断念、事業廃止は無く、目標を達成できた。
9	子育て世帯生活支援給付事業	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、食費等の物価高騰に直面する子育て世帯に対し、給付金を支給する。国の支援措置「低所得の子育て世帯生活支援特別給付金」の対象者の要件緩和と上乘せを行い、高校生までの子ども1人あたり10万円の給付を行う。	4,050	給付件数 48件 給付金額 4,050,000円 国の制度対象者 5万円×15人 村の制度対象者 10万円×33人	一定の効果があつた	支援金の給付により、食費等の物価高騰に直面し、生活に不安を感じている子育て世帯の不安と負担を軽減することができた。
10	庁内LAN整備事業	新型コロナウイルス感染防止対策として、庁舎内で分散業務を行うために必要となる庁内ネットワーク回線を増設し、三密を回避することで住民サービスを提供する役場機能の継続を図る。	636	庁内LAN配線工事費 635,800円	非常に効果があつた	ネットワーク回線の増設を行ったことで、分散業務の実施が可能となり、職員が新型コロナウイルスに感染しても、集団発生を防止し、行政機能を維持することができた。

No.	事業名	事業目的・概要	事業費 (千円)	事業実績	評価区分	評価内容
11	医療機関物価高騰対策支援事業	コロナ禍においてエネルギー等の物価高騰の影響を受けている公立病院の負担を軽減し、安定した地域住民生活の維持に必要な地域医療の継続を図る。	2,838	下仁田南牧医療事務組合への補助金 2,838,000円	一定の効果があった	エネルギー等の物価高騰分を公費負担したことで、利用者へ負担を転嫁することなく、継続して令和4年度中の医療提供体制を確保することができた。
12	社会福祉施設等給食材料費高騰支援事業	コロナ禍において給食材料費の物価高騰の影響を受けている村内の社会福祉施設等の負担を軽減し、感染拡大により、様々な制限を受けている施設利用者等が「食べる楽しみ」を継続できるよう、給食の質の確保を図る。	2,843	村内福祉事業所への補助金交付 5件 補助金額 2,843,005円	一定の効果があった	給食材料費の物価高騰分を公費負担したことで、利用者に負担を求めることなく、これまでどおりの栄養バランスや質を保った給食の提供ができた。
13	肥料・飼料等価格高騰支援事業	コロナ禍において肥料、飼料等の価格高騰の影響を受けている農業従事者の負担を軽減し、生産意欲の減退を防ぎ、農業生産の維持増進を図る。	6,019	【道の駅出品者】 補助件数 45件 補助金額 4,100,000円 【農業者】 補助件数 15件 補助金額 1,919,000円	一定の効果があった	補助金の交付により、肥料・飼料・農薬の価格高騰による農業者等の経費の大幅支出に対するダメージを低減することができた。これにより農業経営の継続が図られた。
14	学校保健特別対策事業費補助金	小・中学校における新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品を購入し、集団感染リスクを低減させる。	1,040	空気清浄機 3台 983,000円 消毒液 57,000円	非常に効果があった	Co2モニター付きの空気清浄機を設置したことで、適切な換気対策を行うことができ、感染リスクの低減に繋がった。
合 計			127,484			